

「川上村国土強靱化地域計画（案）」に関する村民意見募集の結果について

川上村では、村の防災・減災対策の指針となる「川上村国土強靱化地域計画（案）」を取りまとめました。

この「川上村国土強靱化地域計画（案）」を公表し、村民の皆様からご意見を募集しました。意見募集の結果は次のとおりです。ご意見をお寄せいただき、有難うございました。

1. 意見募集の期間

令和3年2月17日（水）～令和3年3月22日（月）

2. 意見提出人数

2人

3. 意見提出件数

5件

4. お寄せいただいたご意見・ご提案と村の考え方

No	ご意見要旨	ご意見に対する村の考え方
1	<p>野菜を運搬する運送業者について、川上村に営業所を置いて収入を得て欲しいと考えています。</p>	<p>運送業者の営業所については、各社の方針があり、村から一律的にお願いすることは難しいものの、今後、農協などの生産者団体と協議し、防災上の観点において必要がある場合は、優遇措置などを検討して参りたいと考えます。</p>
2	<p>負傷者の救護活動について 川上村に事業所を構える会社について、災害時に大勢の負傷者が居る場合、場所や建物・施設などを提供してもらおう。 事業所の代表者や従業員が救急に対応できる講習をしてもらおう。 上記のことにより救急活動の人手不足を解消できるのではと考えます。</p>	<p>ご提案いただきましたとおり、災害時の連携協定などを、ご賛同いただける企業様と積極的に締結し、災害時に、官民が連携して、救命活動や避難所運営を行えるよう、取り組んで参ります。</p>
3	<p>集出荷施設の停電など 停電時、運送会社の冷凍車（トラック）の提供をしてもらい、野菜を冷蔵してもらおう。川上村に事業を構える運送業者に野菜の運送を基本的に優先して頂き、協力・共存していける事が良いと思います。</p>	<p>集出荷施設の停電については、「野菜集出荷施設の電源確保などの対策」として、「川上村国土強靱化地域計画（案）」へも記載のあるとおりでありますが、ご提案いただいた運送会社の冷蔵車を活用する方法については、今後、農協などの生産者団体とも協議し、積極的に検討して参ります。</p>

No	ご意見要旨	ご意見に対する村の考え方
4	<p>河川について</p> <p>河床が低下している所や土砂が堆積している場所があります。</p> <p>河川の河床低下箇所では、帯工など河床低下対策、河床高が高くなりすぎる箇所は継続的な堆積土砂撤去などが必要です。</p> <p>また、砂防堰堤も堆積土砂により治水効果が薄れている箇所があります。</p> <p>県や村、河川管理者、地域住民とともに各地域に沿った河川防災対策の策定やメンテナンスの実施による計画を検討いただきたい。</p>	<p>河床の洗堀防止や堆積土砂の浚渫等については、河川の氾濫を未然に防ぐ対策として欠かせない取り組みだと認識しております。また、砂防堰堤の改良・整備についても、土砂災害対策の一つとして各所で取り組みを進めております。それぞれ「河川環境改善（1-3）」、「急傾斜地崩壊対策施設の整備（1-4、6-1）」として「川上村国土強靱化地域計画（案）」に記載しているところですが、ご意見をいただきましたとおり、地元住民や関係機関との連携を図りながら、適切な対応・取り組みを進めて参ります。</p>
5	<p>地域交通ネットワークの維持</p> <p>県道梓山海ノ口線が通行止めになってしまうと孤立してしまいます。代替道路として、山梨県や埼玉県と隣接しているため秩父までの峠道を主要道に格上げし整備をしたり、山梨県につながる主要道の整備計画もライフライン確保のためには必要だと思います。</p>	<p>本村は四方を山に囲まれた地形にあることから、災害や交通事故等によって分断・孤立するリスクもあり、ご意見のとおり交通ネットワークの維持は、ライフラインの確保や流通・経済活動の観点からも重要な事項でありますので、川上秩父線の県道昇格については、秩父市とも連携しながら、県に要望活動を実施しているところであります。また、山梨県側への主要道整備計画については、中部横断自動車道の整備計画を見極めつつ、近隣町村とも連携を図りながら検討していかなければならない事項であると認識しております。</p>